

# わくわく倶楽部

江口グループ

第156号

令和2年7月発行

## マイナスのところばかりに目を向けず、 明るい未来に向けて、今一步を踏み出したい。

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



み

皆さんこんにちは！いつも江口グループわくわく倶楽部のニュースレターを読んでいただきありがとうございます！

臥龍こと角田識之先生の「小さな会社で生まれた心があたたまる12の奇跡」という本をご紹介します。

奈

良県の南西部に位置し、吉野杉の主産地である緑豊かな村・川上村。この川上村にある村営の温泉旅館「ホテル杉の湯」。大自然の中の小さなホテルから、この物語は始まっていきます。

2

月のある寒い日のことでした。いつものように宿泊予約のベルが鳴り、スタッフの中川さんは対応に当たっていました。電話の相手は若い男性客でした。宿泊希望の春は、吉野山の桜見物のお客も増える時期、開花予測などを含めながら丁寧に話をしていたときでした。ふと、電話の向こうの男性が神妙な声になり、少し恥ずかしそうに、こう言ったのです。「あの…、桜のきれいな場所を教えてくださいませんか？実は…、桜の花が大好きな彼女にプロポーズしたいのです」

中川さんは、初めての申し出に戸惑いながらも、「わかりました。満開の時期を少し過ぎていますが、探してみます」と、快活に答えました。今までの杉の湯なら、「川沿いの桜がキレイですよ」というくらいの返事で終わっていたかもしれませんが、しかし、この年の年頭の会で、「ホテル杉の湯はお客様と共に感動するホテルを目指す」という理念を、全員で共有したところでした。中川さんの心の中にも、「お客様に喜んでいただきたい、お役に立ちたい」という思いがわき上がっていたところだったのです。

中川さんからの報告を元に、早速スタッフミーティングが開始されました。「どこがきれいだろう？」「どうしたら、彼女に喜んでもらえるのかな？」「絶対うまく行ってほしいなあ！」と、全員がまるで親友の手助けをするかのように、真剣にかつ笑顔で、心躍らせながら話し合いを重ねるのです。

そしていよいよ、二人の宿泊日がやってきました。一重の桜の時期を終え、八重の桜が満開の時期。事前にスタッフとその男性・ヒロ君は、綿密な打ち合わせをし、この日を

待っていたのです。二人のために選んだ場所は、杉の湯の兄弟施設「匠の聚<sup>たくみむら</sup>」。ここの喫茶コーナーは景色も最高で、雨が降っても大丈夫、しかも、桜も近くに咲き誇る、絶好のロケーションです。彼女の好きな曲はすでにリサーチ済みで、館内BGMの準備も完璧！前日に手配していたレッドカーペットも、彼らの指定席に向かって入り口から敷かれています。そして、匠の聚のコテージに宿泊していた家族連れにも、一緒にお祝いをしてもらうよう依頼したので、ちびっ子たちは嬉しそうにクラッカーを握りしめています。

そして、ようやく主役の二人が匠の聚に到着。引き込まれるようにレッドカーペットに導かれ、指定席へ向かいます。二人は仲よく語り合い、恋人たちの時間を楽しんでいます。そと柱の影から見守るスタッフ、クラッカーを早く鳴らしたくてうずうずしているちびっ子たち。彼女の輝くような笑顔に、なかなかプロポーズの言葉が言い出せない彼…。しかし、ようやく意を決し、事前に用意していた桜の花をそと手渡ししながら、想いを告げるのです。

突然のできごとに目を丸くして驚く彼女。そしてなんと、大きな瞳から涙があふれ出し、下を向いてしまったのです。「彼女が泣いてる!」、「ええ〜〜!」隠れて見ていたスタッフも、思わず時が止まる思いです。ふと彼のほうを見ると…。「あわわ!彼も泣いてる!」、「これは…ま、まさか…」心の中では大あわてのスタッフたち。ところが…泣いていた彼が、涙をぬぐいながら、フツと笑いました。振り向いたヒロ君は、隠れていたスタッフを見つけ、「OK」のVサイン!

「おめでとう!おめでとう!」バン!バン!バン!子どもたちも、ようやくこぞとばかりにクラッカーを鳴らし、大はしゃぎ!突然ふわりと、窓の向こうに何が降ってきました。淡い桜色の大きな垂れ幕に、なんと大きな「おめでとう!」の文字が描かれています。一斉にわき上がる「おめでとうございます!」の歓声。これはホテル杉の湯の久保支配人から二人へのサプライズ・プレゼントでした。

思わぬ大勢の人からの祝福の嵐、そしてお祝いの垂れ幕の登場にびっくりした彼女の目から、さらに大粒の涙があふれ出し、止まらなくなっていました。「ありがとうございます。知らなかった。こんなにみんなに祝福してもらって…」彼女の声は喜びのあまり震えていました。(中面に続く)

# 4代目の江口グループ現場だより

ヒロ君は、彼女にわけを話し、「おめでとう！」の垂れ幕の前でそっと彼女を抱きしめるのでした。こうして二人は愛を誓い合い、その後、お互いの家族に挨拶に行き、一年後には新しい人生をスタートさせていったのです。

本当におせっかいなホテル杉の湯のキューピットたちでしたが、幸せなお二人の姿を見て、逆に自分たちが幸せな気持ちになっていたことに気が付きます。「お客様の笑顔が、こんなに嬉しいなんて…。私たちの仕事って、こんなに素晴らしいのだ！」ホテル杉の湯の目指す「お客様と共に感動する」ことの素晴らしさを、この二人から教えてもらったのだと、スタッフは感じています。スタッフから二人へのメッセージは、「ありがとうございます。ヒロ君、チサさん、永遠にお幸せに！私たちは、いつもこの吉野の地で、お二人を心から応援しています。～おせっかいなキューピットたちより～」という言葉で、結ばれていました。

**今** コロナの影響で、全国の多くのホテルや旅館、そして飲食店はまさに存続の危機に瀕しています。たしかに、ホテルや飲食業などホスピタリティ産業は、今回のコロナ禍においては不要不急の業種に位置するのかもしれませんが、だからこそ、この国難ともいべきこの期間は、国の方針に従って、ほとんどの店舗が休業をしました。しかしそのために、日銭を稼がなければやっていけないこれらの産業は、今、本当に疲弊してしまっています。

車のハンドルに遊びがなかったら、事故は急増するだろうという話があります。F1のレーシングカーのように遊びがなかったら、ハンドルをきいたら急に車は曲がってしまいます。だから、運転者は極度の緊張を強いられる。多くの人は、そのような緊張の連続には耐えられない。遊びがあるから、安全運転ができるのです。まさに、これらホスピタリティ産業は人生においてハンドルの遊びの部分だと言えます。不要不急かもしれないが、人生にとって大事なシーンいろどを彩るなくてはならない存在なのです。

それは、ホスピタリティ産業にとどまりません。旅行業界も、航空業界も、タクシーも、観光バスも、観光施設も、テーマパークも、商店街の商店も、我々に心に豊かさを与えてくれるオアシスのような存在ではないでしょうか。それらは、なくなってみてはじめてその存在の大きさに気づきます。このコロナ禍が明けたら、なんとしても多くの業界の応援をしたいと思います！マイナスのところばかりに目を向けず、明るい未来に向けて、今一步を踏み出したいですね！

## CHIKACO姉さんのツエチャレ！ リフティングは回数より面白さです！

**ツ** エーゲン金沢さんのリフティングチャレンジという企画に江口組が参加させてもらいました！リフティングができた回数だけ自社のPRができるという企画です。1回できると1秒。15回だと15秒会社のPRができるんです！

**江** 口組のリフティングチャレンジャーはもちろんこの人!!! CHIKACO姉さんです!! 家にサッカー少年の息子さんがいるCHIKACO姉さん。何度も自主練を重ねたそうです。そして、その成果が平均2回。最高4回…さて本番はどうだったのでしょうか？

**そ** の様子はツエーゲン金沢さんの公式Facebook、そしてTwitterにアップされています。回数を重ねてたくさん時間PRすることはできませんでしたが、面白さは100点満点だったのではないのでしょうか！ぜひツエーゲン金沢さんのSNSでCHIKACO姉さんの活躍をご覧ください！[#ツエチャレ]で検索！



## 花植えボランティアに参加しました！

**毎** 年恒例の小松能美建設業協会主催の花植えボランティアに新入社員の村木さんと新谷さんと参加してきました！国道360号線の御宮町～細工町間の道路沿いの花壇に花を植える活動です。協会員をはじめ、地元の町内の皆さん、近所の企業の皆さんと一緒に頑張りました。用意したマリーゴールド、サルビア、ポーチュラカ約700株の花を植え、道路沿いは色とりどりの花で賑やかになりました！

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

[www.facebook.com/eguchigumi/](http://www.facebook.com/eguchigumi/)



(株)江口組公式 Twitter

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。  
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)!

**い** つもは近所の幼稚園の子供たちも参加してくれて、可愛く賑やかな花植えになるのですが今年はコロナの影響で子供たちは不参加。来年はまた子供たちと一緒に楽しく植えられたらいいですね!!



新入社員2人も頑張りました!



江口組は就職活動を頑張る  
 高校生を応援します!!

**7** 月になると来年4月の新入社員を募集するために高校へ求人票を持っていきます。今年も江口組は求人票を出させてもらいました。来年の春に新しい仲間が加わったらいいなって願ひます。さて、新型コロナウイルスで高校生の就職活動にも影響が出ています。高校3年生のデュアルシステム(長期型職場体験)や毎年高校2年生が来てくれるインターンシップも中止になってしまいました。こういう取り組みは就職を考えている高校生にとっては、仕事内容や会社の雰囲気を知るのに貴重な場であるので、すごく可哀想やなと思うのと、自分たちも残念やなって思ひます。7月に予定している、金沢の産展で行われる予定の県内の企業が300社ほど集まって開催される合同説明会も開催が危うい状況です。

**こ** れに参加することで、先輩社員たちとも話ができるし、働くってどんなことかイメージができるし、開催できないと高校生たちも結構不安になることが多いんじゃないかなって思ひます。実際に、過去を振り返るとこれに参加し、江口組に入社を決めてくれた高校生もいますし、自分の夢がはっきりと見えた高校生もいます。

**ま** っと参加したら、ああしよう、こうしようってことがあったと思ひます。「先輩からいろんなことを聞きたかったはずです。」「仕事を体験してみたかったはずです。」「会社の雰囲気を知りたかったはずです。」そんなことができなくなって、来年には社会人になることに対して、またこれからの就職活動に対して不安に思ひ、心配すること結構あるんじゃないかなって思ひます。

**そ** んな就職活動を頑張る高校生たちを江口組は応援したいなと思ひます!例えば情報発信。いつもやっていますがSNSをさらに頑張って仕事のこと、会社のことなんか少しでもわかるように頑張ります。ぜひ江口組のYouTubeチャンネル「えぐチャンネル!」を見てください!現場で働く様子や、先輩の社員のインタビューを知ることができますよ!



江口組の現場を知ることができます!



えぐチャンネル!はこちらから

カレー王子のカレーメーカー  
 007



アルバが大好き  
 カレー王子

カレーの市民アルバが高校生の時から大好き過ぎて、お店に許可なくFacebookページを作って投稿していたら、いつの間にか「カレー王子」と呼ばれるようになりました。アルバのカレーが大好きなカレー王子がメニューを紹介するコーナーです。よろしくお願ひします。

今月ご紹介するのは「豚の生姜焼き定食」です。アルバにはカレー以外に定食やスパゲティがあります。カレーに負けないほど美味しいメニューばかりですが、カレー王子のオススメは「豚の生姜焼き定食」です!!お肉が肉厚でジューシーで

最高!これを大盛りご飯と一緒に食べるとご飯がどれだけでも食べられそうな勢いっす!!カレーも美味しいですが、生姜焼き定食もアルバで食べて欲しい一品です(^^)



カレー屋さんなのにアルバの生姜焼きはめちゃ美味しいです!

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください!毎日どれかは必ず更新しています!



# スタッフ通信

こんにちは。もうすぐ梅雨があけますね。今年も夏は暑そうなので、夏バテしないように沢山食べてよく寝て乗りきりたいと思います。今月もスタッフの“読んでみたい本”です。

鬼滅の刃です。  
理由は続きが  
気になるからです！

森中



工事部  
森中 勇樹

本のタイトル 山根  
「あるかしら書店」  
ヨシヤシヤ著  
紀伊國屋書店 スタッフの  
おススメのマンガを見て、  
読んでみたかった1冊！



工事部  
山根 勝敏

あんまり本を読まないで... 『40代おすすめの本  
2020』で調べてみました(笑)

『才能の正体』 著者: 坪田 信貴 が気になりました。 “才能は誰にでもあって、最初は芽のように小さい。それを大きく育てることができるのはあなた次第です” とあります。中の本大好きな息子に読ませたいので♡

ちなみに その息子に おすすめの本を尋ねたら『江戸川乱歩の 短編推理小説 処女作』である『二銭金貸』と言われました。...難しい♡



総務部  
喜多 小純

## KINGDOM

ずらと“おもしろいよ”と言われ続け... 会社にも全巻あるのに...

全く読まず♡

先日テレビで“映画”をやっていたので! 見たところ...

“揚端和”にハマった♡ 長澤まさみさんが、こよく、キレイで♡

アニメを見るか... マンガを読むか悩み中です。



総務部  
庄源知加子

お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、ご意見・ご感想などがございましたらご連絡下さい!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地  
TEL.0761-24-1311(代)

eguchigumi@eguchi-group.co.jp